リーディングDXスクール事業 【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校（宮城県）【指定校】

【取組内容】 安全点検表のクラウド化による教職員間の情報共有と措置対応の蓄積

【概要】
本校では安全点検表をクラウド化することで、情報共有と記録の蓄積が容易になり、特に担当と管理職の負担軽減につながっています。

【使用するアプリ 等】
Googleスプレッドシート

【活用の流れや工夫点 等】
- 点検者はタブレット端末と点検用具を持って点検を行い、結果をGoogleスプレッドシートに入力をして報告します。
- 安全点検表をクラウド化したことで、これまでは点検者や管理職しか知らなかった情報が教職員間で共有できるようになっています。
- 不良箇所があった場合は、写真を撮影し、「不良箇所集計表」にその画像を掲載します。
- 管理職や業務員はその場に行かなくても、不良箇所の概況を把握できるようになっています。また、記録として蓄積されるため、特に担当と管理職の負担軽減につながっています。
- 冬季期間中に行う「火気点検表」についても同様にクラウド化を行ったことで、消化時刻の入力が時短化され、共有と蓄積が容易になっています。

不良箇所は点検者が撮影し、画像をアップロードする。